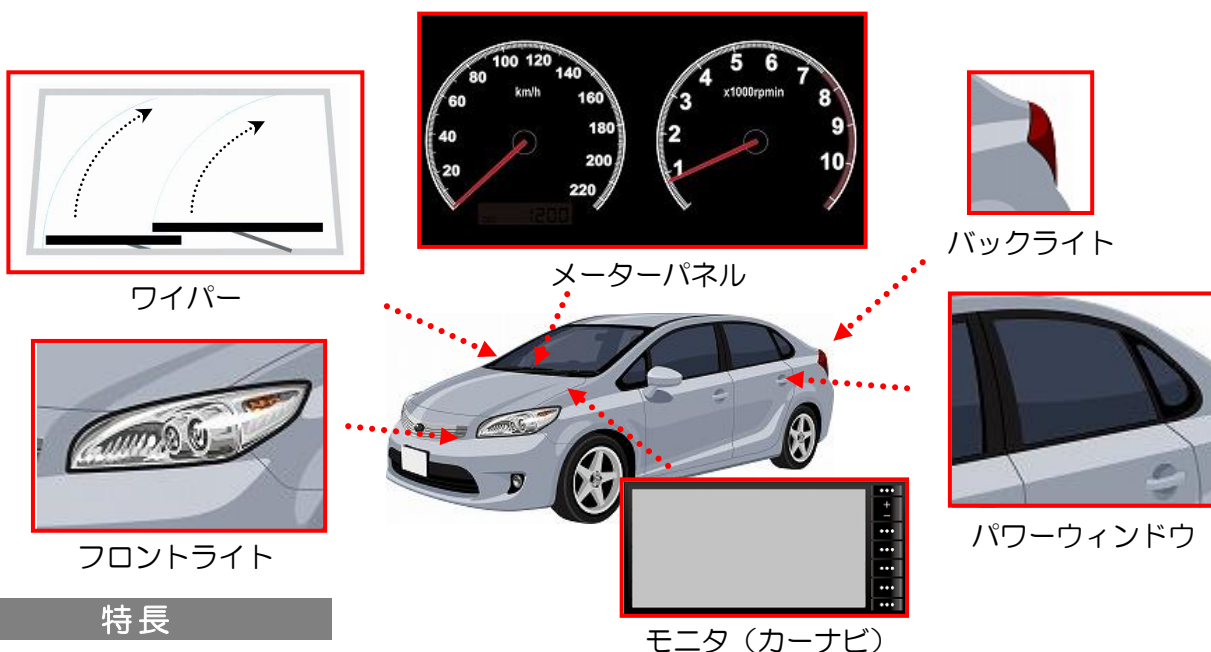


映像判定システム / 7301A

EMCシールドカメラ対応

目視検査による判定を自動化

目視検査によって実施されている、EMC 試験及び長時間連続運転での動作確認を、本システムに置き換えることにより効率的に自動化することができます。長時間の目視検査は検査員の負担となり信頼性に欠ける結果となる場合があります。本システムを使用することにより、長時間・同条件の検査が可能となります。



特長

■設置・運用が容易

従来の映像判定システムに比べて、カメラの設置調整が格段に容易に行えます。判定対象及び設置場所の変更も、短時間で作業が可能です。

■既存試験装置・システムとの連携

既存試験装置との連携により、検査の完全自動化が可能です。試験情報を共有することにより、試験結果の解析・確認作業を効率良く行えます。

■判定現象を映像で記録

判定現象が発生した前後の映像を記録し、試験内容とリンクして再生できます。試験結果の解析・確認作業時に、判定現象発生状況を動画で正確に把握できます。

■詳細な判定条件設定

画素レベルでの判定条件設定が可能で、目視では判断が難しい様々な映像変化現象の検査に対応可能です。

■EMC 測定環境に対応

カメラは、250V/m 以上の妨害波に対応したシールド特性を有しており、電波暗室にもそのまま設置し運用可能です。

運用方法

■計測機器の表示検査

自動車のメーターパネルに代表される表示器は、表示情報の増加とデザイン性から、素材と形状が多様化しています。これらを検査内容に沿ってエリアを区切り、判定条件を設定することで、試験工数を大幅に削減できます。

<指示値検査>

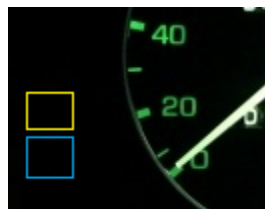


判定エリアをタコメーターに指定

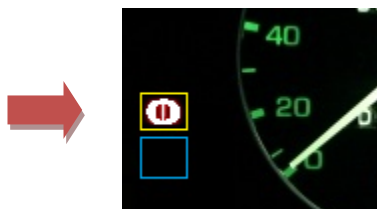


変化を検知した範囲を色(白)で表現

<点灯・消灯検査>



インジケータ表示位置に
エリアを指定



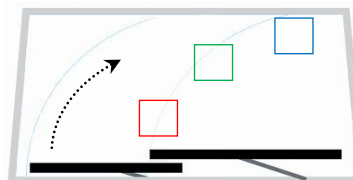
黄枠エリアの変化を検知



青枠エリアの変化を検知

■可動部品の動作検査

ワイパー・ドア・パワーウィンドウ等のモーターによる可動部の検査も可能です。周期性・シーケンス性を判定条件に加えて検査します。



各エリアを通過する順番と
シーケンスを判定

■ディスプレイ（モニタ）受像検査

自動車のバックモニタ等、カメラを用いた車載機器が増えています。本システムと専用コンテンツを用いることで、カメラ→伝送系→ディスプレイの全経路の検査が可能です。

輝度・色相・ドロップノイズ・フリーズ等の検査を行います。



判定エリアを指定し
モニタの変化を判定

■その他・・・

*判定内容によって最適なソリューションをご提案致します。

製品構成

- ・EMC 環境対応カメラ (W:140mm,H:70mm,D:200mm)
- ・Optical ケーブル ・O/E 変換アダプタ ・Control PC

